



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月28日

上場会社名 株式会社ACCESS 上場取引所 東  
 コード番号 4813 URL http://www.access-company.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室伏 伸哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長兼管理グループ長 (氏名) 阿草 明子 (TEL) 043-212-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	4,969	△35.6	△857	—	△733	—	△814	—
26年1月期第3四半期	7,712	△3.1	529	△33.7	647	△31.2	364	△81.4

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 △804百万円(—%) 26年1月期第3四半期 755百万円(1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	△21.13	—
26年1月期第3四半期	9.45	9.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第3四半期	34,343	32,323	92.7
26年1月期	35,490	33,147	92.0

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 31,836百万円 26年1月期 32,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年1月期の配当額は未定であります。

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△31.3	△900	—	△850	—	△1,000	—	△25.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成26年11月28日)公表しております「平成27年1月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年1月期3Q	39,203,100株	26年1月期	39,203,100株
② 期末自己株式数	27年1月期3Q	682,646株	26年1月期	685,146株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年1月期3Q	38,519,694株	26年1月期3Q	38,518,000株

- ・ 当社は、平成25年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
- ・ 自己株式数については、株式給付信託口が所有する当社株式 (27年1月期3Q : 681,500株、26年1月期 : 684,000株) を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当社グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。
- ・ 期末の配当予想につきましては、今後も経営環境に不安定要素が多いため、現段階では未定とさせていただきます。なお、予想額は状況を見極め速やかに開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年2月1日～10月31日)の当社グループを取りまく環境としましては、国内経済におきましては、消費税率の引き上げの影響が一部に見られたものの、雇用情勢の改善等が景気を下支えし、総じて見れば安定的に推移しました。一方、世界経済におきましては、欧米等の先進国では持ち直しに転じる動きがあるものの、新興国では成長鈍化の兆しがみられる等、不透明感が強まっています。

このような環境の下、当社グループは次のような取り組みを展開いたしました。

## ○ ソフトウェア事業(国内)

携帯電話端末及び情報家電の関連分野において、既存製品の高い収益性を維持しつつ、新規事業の開拓に注力いたしました。

特に、新規分野への取り組みとして、O2O(Online to Offline)サービスをはじめとして幅広い分野への応用が期待される次世代マーケティングソリューション「ACCESS<sup>™</sup> Beacon Framework (ABF)」の事業展開に引き続き注力しております。本サービスの機能拡張の一環として温湿度センサー、加速度センサー、単三電池型といったラインナップ拡充に取り組むほか、次世代の広告・プロモーション支援サービスの実現に向けて顧客データ資産管理ツールやインターネット広告配信プラットフォームとの連携等を推進しており、具体的な取り組みとして、株式会社フリークアウト(本社:東京都)と協業し、同社の提供するプライベートDMP(Data Management Platform)との連携を開始いたしました。

本サービスの導入事例としましては、BtoBサービス向けには株式会社博報堂(本社:東京都)が提供する企業顧客向け新広告配信ソリューション「ACTIVATION-AD<sup>™</sup>」やアライドアーキテクト株式会社(本社:東京都)のプロモーション支援サービス等に、BtoCサービス向けではKDDI株式会社(本社:東京都)のスマートフォンユーザー向けサービス「auスマートパス」や大手アパレルメーカーである株式会社ナノ・ユニバース(本社:東京都)が展開する、オンラインと実店舗が連動したO2Oソリューション、20世紀フォックス映画(本社:東京都)の配給映画作品向けの劇場内プロモーション・プログラム等に採用されております。

ソフトウェア事業(国内)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半期比
外部顧客への売上高	3,828百万円	1,790百万円	△53.2%
セグメント損益	1,503百万円	318百万円	△78.8%

## ○ ソフトウェア事業(海外)

海外市場における携帯電話端末及び情報家電の関連分野へ向け先進ソリューションの提供を行っております。

情報家電関連の取り組みとしましては、主に欧米市場向けに、様々な情報家電や端末間でコンテンツやサービスがシームレスかつセキュアに連携するマルチスクリーン向けHTML5及びDLNA関連の先進ソリューションの開発・展開を推進しております。具体的な取り組みとして、DLNAのコンテンツ配信ガイドライン「VidiPath<sup>™</sup>」に準拠したDLNAソリューション「NetFront<sup>®</sup> Living Connect 3.1」や情報家電向けHTML5対応組み込みブラウザ「NetFront<sup>®</sup> Browser BE」を発表しました。また、あらゆるスマートデバイス上でセキュアなコンテンツ同期サービスを実現するマルチスクリーンソリューション「ACCESS Twine」を提供開始し、主として有料テレビ放送事業者向けに営業展開に努めております。

ソフトウェア事業(海外)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半期比
外部顧客への売上高	1,289百万円	989百万円	△23.3%
セグメント損益	△272百万円	△516百万円	—

## ○ ネットワークソフト事業

当社の米国子会社アイピー・インフュージョン・インクが開発したネットワーク機器向け基盤ソフトウェア・プラットフォーム「ZebOS<sup>®</sup>」の開発・拡販を中核事業として推進しております。また、ネットワーク仮想化への取り組みとして、次世代クラウド基盤技術であるSDN(Software Defined Network)ソリューションをはじめ、ネットワーク機能仮想化技術であるNFV(Network Function Virtualization)ソリューション等の開発・拡販を推進しております。

「ZebOS<sup>®</sup>」関連の取り組みといたしましては、帯域スケーリングやネットワーク拡張性、冗長性等を大幅に強化した次世代ネットワークプラットフォーム「ZebOS-XP<sup>®</sup> Release 1.1」を市場投入したほか、同製品を活用した新製品として、Broadcom Corporation（本社：米国）のスイッチングLSI「BCM56850 STRATAXGS<sup>®</sup> TRIDENT II」に対応したデータプレーンインテグレーションソフトウェア「ZebIC<sup>™</sup>（ゼブアイシー）」を開発・提供開始いたしました。

一方、ネットワーク仮想化ソリューションへの取り組みといたしましては、SDN関連では日本電信電話株式会社（本社：東京都）を中心として開発されたSDN対応ソフトウェアスイッチ「Lagopus」のオープン化に際し、株式会社ストラトスフィア（当社関連会社）が技術協力を行うほか、ネットワーク仮想化のためのパッケージソリューション開発を目的として株式会社ボスコ・テクノロジーズ（本社：東京都）との協業を開始いたしました。また、NFVにつきましましては、主として通信事業者向けに、サービス展開と管理手段の効率化を実現する仮想ネットワークプラットフォーム「VirNOS<sup>™</sup>（ヴァーノス）」を開発・提供開始しております。

ネットワークソフト事業	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半期比
外部顧客への売上高	2,035百万円	1,602百万円	△21.3%
セグメント損益	△334百万円	△202百万円	—

#### ○ フロントエンド事業

スマートデバイスの急速な市場浸透を踏まえ、各種サービス事業者やエンドユーザーに対し新たなサービスを実現するためのソリューションを提供しております。特に、注力分野である電子書籍関連事業ではEPUB3.0対応の電子出版プラットフォーム「PUBLUS<sup>™</sup>（パブラス）」シリーズを提供し、出版分野に続いて教育分野への事業展開に取り組んでおります。

また、新規事業への取り組みとして、企業のコミュニケーションの迅速化、活性化、低コスト化を支援するクラウド連携サービスシリーズ「JINSOKU.biz<sup>™</sup>（ジンソクドットビズ）」の提供を開始いたしました。現在、「JINSOKU.biz<sup>™</sup>」シリーズとして、ドキュメント共有・活用サービス「DocDrive<sup>™</sup>（ドックドライブ）」、Web会議サービス「Room<sup>™</sup>（ルーム）」、チャットサービス「Linkit<sup>™</sup>（リンクイット）」の3サービスを提供しておりますが、今後も継続的にラインナップの充実を図ってまいります。

なお、本事業セグメントにおける具体的な営業成果として、株式会社集英社（本社：東京都）の電子雑誌アプリ「少年ジャンプ+」のプラットフォームに「PUBLUS<sup>™</sup>」を提供し、好評を博しておりますほか、株式会社ビューン（本社：東京都）の電子雑誌読み放題アプリ「ビューン」の新サービス「ビューンおトク読み」や、株式会社医学書院（本社：東京都）の電子教科書サービス「医学書院eテキスト」に当社サービスが採用されております。

フロントエンド事業	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半期比
外部顧客への売上高	559百万円	586百万円	5.0%
セグメント損益	△366百万円	△441百万円	—

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高49億69百万円（前年同四半期比35.6%減）、経常損失7億33百万円（前第3四半期連結累計期間は経常利益6億47百万円）、四半期純損失8億14百万円（前第3四半期連結累計期間は四半期純利益3億64百万円）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億46百万円減少して343億43百万円となりました。

負債は、買掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億22百万円減少して20億20百万円となりました。

純資産は、四半期純損失8億14百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億24百万円減少して323億23百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月13日に公表いたしました平成27年1月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

具体的な内容につきましては、本日（平成26年11月28日）公表しております「平成27年1月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,093,005	23,926,232
受取手形及び売掛金	3,869,151	2,220,590
有価証券	956,172	246,029
商品及び製品	38,608	102,389
仕掛品	73,009	138,550
繰延税金資産	4,857	6,564
その他	451,854	420,480
貸倒引当金	△241,259	△84,766
流動資産合計	28,245,400	26,976,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,532,691	3,554,445
減価償却累計額	△1,159,161	△1,281,599
建物及び構築物(純額)	2,373,530	2,272,845
土地	1,563,534	1,563,534
その他	2,039,593	2,075,518
減価償却累計額	△1,866,608	△1,964,308
その他(純額)	172,985	111,209
有形固定資産合計	4,110,049	3,947,589
無形固定資産		
その他	91,010	234,636
無形固定資産合計	91,010	234,636
投資その他の資産		
投資有価証券	637,566	708,382
長期性定期預金	2,000,000	2,000,000
繰延税金資産	243,181	249,766
その他	162,866	226,872
投資その他の資産合計	3,043,614	3,185,022
固定資産合計	7,244,675	7,367,248
資産合計	35,490,075	34,343,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	201,124	116,709
未払法人税等	342,995	305,290
賞与引当金	193,091	181,619
受注損失引当金	27,564	129
その他	1,325,249	1,167,086
流動負債合計	2,090,024	1,770,835
固定負債		
繰延税金負債	25,921	32,624
退職給付引当金	113,559	113,795
株式給付引当金	57,427	47,738
その他	55,385	55,022
固定負債合計	252,293	249,180
負債合計	2,342,317	2,020,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,391,499	31,391,499
資本剰余金	8,431,093	8,431,101
利益剰余金	△4,526,785	△5,340,823
自己株式	△404,718	△403,271
株主資本合計	34,891,089	34,078,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,016	47,408
為替換算調整勘定	△2,276,833	△2,288,942
その他の包括利益累計額合計	△2,250,816	△2,241,533
新株予約権	507,485	486,330
純資産合計	33,147,758	32,323,303
負債純資産合計	35,490,075	34,343,319

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	7,712,463	4,969,177
売上原価	3,467,236	2,577,676
売上総利益	4,245,227	2,391,501
販売費及び一般管理費	3,715,270	3,249,108
営業利益又は営業損失(△)	529,956	△857,607
営業外収益		
受取利息	45,634	43,279
投資事業組合運用益	—	83,696
為替差益	45,599	29,076
還付消費税等	52,080	15,324
その他	16,438	18,505
営業外収益合計	159,752	189,882
営業外費用		
支払利息	66	30
持分法による投資損失	25,079	63,420
投資事業組合運用損	16,505	—
その他	72	2,525
営業外費用合計	41,724	65,976
経常利益又は経常損失(△)	647,984	△733,701
特別利益		
新株予約権戻入益	48,044	21,567
その他	532	—
特別利益合計	48,576	21,567
特別損失		
特別退職金	122,728	31,259
その他	705	1,850
特別損失合計	123,433	33,109
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	573,127	△745,243
法人税、住民税及び事業税	175,772	69,505
法人税等調整額	33,324	△710
法人税等合計	209,096	68,794
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	364,030	△814,038
四半期純利益又は四半期純損失(△)	364,030	△814,038

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	364,030	△814,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,735	21,392
為替換算調整勘定	386,032	△13,548
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1,439
その他の包括利益合計	391,767	9,283
四半期包括利益	755,798	△804,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	755,798	△804,755
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフト ウェア事業 (国内)	ソフト ウェア事業 (海外)	ネット ワーク ソフト事業	フロント エンド事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	3,828,480	1,289,353	2,035,527	559,101	7,712,463	—	7,712,463
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	12,975	227,492	28,638	1,974	271,080	△271,080	—
計	3,841,456	1,516,845	2,064,166	561,076	7,983,544	△271,080	7,712,463
セグメント利益又は 損失(△)	1,503,783	△272,541	△334,165	△366,083	530,993	△1,036	529,956

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,036千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフト ウェア事業 (国内)	ソフト ウェア事業 (海外)	ネット ワーク ソフト事業	フロント エンド事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,790,421	989,321	1,602,661	586,772	4,969,177	—	4,969,177
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	45,440	140,568	2,996	17,879	206,885	△206,885	—
計	1,835,861	1,129,890	1,605,658	604,652	5,176,062	△206,885	4,969,177
セグメント利益又は 損失(△)	318,438	△516,063	△202,718	△441,902	△842,246	△15,361	△857,607

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△15,361千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。